

# 明治安田生命名古屋ビル



贈呈理由

高効率空冷式ヒートポンプ空調へのリニューアルにより、省エネルギー・省コストを実現



セントラル



明治安田生命名古屋ビル

## 地球温暖化対策を積極的に推進

明治安田生命保険相互会社は1881年創業の生命保険会社である。同社は「確かな安心を、いつまでも」の経営理念のもと、信頼を得て選ばれ続ける、「人に一番やさしい生命保険会社」を企業ビジョンとして定め、各ステークホルダーとの絆を深めるべく行動している。その中で「地域社会との絆」として環境問題、特に地球温暖化への取り組みは、企業の社会的責任と捉え積極的に推進しており、2019年

には気候関連財務情報開示タスクフォース提言に賛同し、同社の事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量を「2030年度までに2013年度比50%削減」を目標として活動している。

## 空調設備の経年劣化により、空調のリニューアルを実施

名古屋の中心部である栄に位置する「明治安田生命名古屋ビル」は1973年に地上16階建ての事務所ビルとして建築され、冷暖房は低層階へは地下4階の機械室から、高層階へは16階の機械室から供給されている。竣工から



空冷ヒートポンプチラー

約47年が経過し、空調設備の経年劣化や故障修理の頻度が増し、さらにR22冷媒の全廃に伴い、空調のリニューアルが決定した。

更新後の設備はピーク負荷低減のための吸収式冷温水機2台とモジュール型空冷ヒートポンプチラー7台である。高効率な空調機のコントローラの採用により、吸収冷温水機と空冷ヒートポンプチラーの併用運転を実施し、エネルギーコストや季節に応じた省エネルギーを最大化する最適な運転パターンにより、CO<sub>2</sub>排出量22%削減および一次エネルギー消費量21%削減が見込まれる。

### 一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	ガス焚き吸収式冷温水機+水冷チラー+空冷チラー 一次エネルギー消費量:15,961.73GJ
採用システム	ガス焚き吸収式冷温水機+空冷チラー 一次エネルギー消費量:12,540.47GJ



(諸元)同一空調負荷条件による年間シミュレーション比較  
一次エネルギー換算値  
※電気(全日)9.76MJ/kWh ※都市ガス45MJ/Nm<sup>3</sup>  
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

### 明治安田生命名古屋ビル

所在地:愛知県名古屋市中区新栄町1-1  
延床面積:38,893.14m<sup>2</sup>  
竣工:2020年更新

#### 設備概要

ガス焚き吸収式冷温水機250USRT×2台[川重冷熱工業]  
空冷ヒートポンプチラー180kW×7台[東芝キヤリア]